

高圧ガス容器バルブ設計・製造基準 KHKS 0124 (2009)の改正について

1. 見直しの主旨

KHKS 0124は、高圧ガス容器用バルブの国際規格ISO 10297を基本として、圧縮ガス、液化ガス及び圧縮アセチレンガス（液化石油ガス用を除く。）を充てんする容器に装置されるバルブの設計、製造及びプロトタイプ試験の方法等を定めた基準であり、平成16年に制定されたものである。その後、平成21年に改正がされ、最終改正から4年が経過したため、定期的な見直しを行うものである。

2. 前回改正の主な内容

(1) 本基準で引用する規格の最新版の適用

(例 JIS B 8246(2004)←JIS B 8246(1996)、ISO 15001(2003)←ISO/DIS 15001等)

(2) 基準の編集方法について日本工業規格（JIS Z 8301）に準拠するための改正

3. 改正要望

本規格の見直しにあたって、関係団体に改正要望の調査を行ったところ、特に要望はなかった。

4. 引用規格の確認

本基準で引用しているJIS規格及びISO規格のうち、改正されている規格及び本基準の技術的内容を伴う主な改正点を以下に示す。

改正された引用規格	技術的内容の変更を伴う主な改正点
ISO 5145(2004) → (2008) 「Cylinder valve outlets for gases and gas mixtures; selection and dimensioning」	特になし
ISO 10156(1996) → (2010) 「Gases and mixtures - Determination of fire potential and oxidizing ability for the selection of cylinder valve outlets」	・ 空気より酸化力が強いガスかどうか判別する酸化力（計算により求める値）の基準値が変更（酸化力 $\geq 21\%$ → $> 23.5\%$ ） ・ 混合ガスの酸化力を計算する際に必要

	な、酸化性ガスの酸素等価係数の追加及び不活性ガスの窒素等価係数の変更等
ISO 11114- 1 (1997) → (2012) 「 Transportable gas cylinders - Compatibility of cylinder and valve materials with gas contents : Part1: Metallic materials 」	・ ガスと金属材料の適合性を示す表においてガス種（クロロメタン）が追加
ISO 11114- 2 (2000) → (2013) 「 Transportable gas cylinders - Compatibility of cylinder and valve materials with gas contents : Part2: Non - Metallic materials 」	・ ポリ塩化ビニル、ポリウレタンゴム等が追加され、それぞれガスとの適合性を示す表が追加
ISO 15001(2003) → (2010) 「 Anaesthetic and respiratory equipment - Compatibility with oxygen 」	特になし

4. 改正内容

以下の内容について改正案を作成した。

- (1) 本基準で引用する規格の最新版の適用
- (2) 基準の編集方法について日本工業規格（JIS Z 8301）に準拠
- (3) 誤字・脱字の訂正